

事務事業評価表

○基礎情報

課名		青少年課		作成責任者		常勤職員		常勤職員以外			総従事者		時間外勤務時間	
施策目標	6	思いやりの心とたくましく生きぬく力を育てる	関山 知子	管理職	左記以外	再任用短時間	臨時職員	非常勤嘱託職員	総人工			総時間	一人あたり月平均	
				3 人	8 人	4 人	11 人	3 人	23.15 人			1,860 時間	19.4 時間	

1 施策指標と実績(Do)

施策指標名	4次実施計画の現状値	目標値(R2年度)	実績値		
			H29年度	H30年度	R元年度
小学校ふれあいプラザ利用者数	36,355人	40,000人	34,270人	34,627人	32,186人
小学校ふれあいプラザ開設校数	18校	19校	18校	18校	18校
青少年会館の利用者数	153,116人	110,000人	146,160人	124,970人	79,083人

(施策のねらい)

1	青少年育成の推進
2	子どもたちの居場所づくり
3	0
4	0
5	0
6	0

(評価の見方) S 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める
C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない
Z 未着手事業(計画していたが未実施に終わった) 実績なし 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった(実施計画期間中で当該年度は実施予定のないものを含む)

2 政策的事業の実績(令和元年度)

事務事業の取組結果と成果(効果) (Plan / Do)															Check		Action	
No.	事務事業 (第4次実施計画)	施策	従事者数	会計区分	H30予算(円)	R元予算(円)	何・誰に対して どう働きかけた結果 どうなったか(生ま (対象) (手段・方法) れた成果・効果)	事務事業の指標	R元目標値	R元実績値	評価	取組時間	事務改善	休・廃止				
1	(仮称)茅ヶ崎公園 体験学習施設整備 事業	1	0.24	一般	1,279,828,000	4,885,000	体験学習センター建設工事に係る影響について、近隣 住宅地等への工事後の障害等の調査を実施し、工事影響 無しの調査結果となった。	整備目標	障害等調査	障害等調査実施	S	-						
					1,240,519,600	3,310,885												
2	茅ヶ崎ゆかりの宇宙 飛行士関連事業 ((仮称)宇宙まつり及 び宇宙記念日関連 事業)	1	0.63	一般	899,000	1,000,000	次世代を担う子どもたちをはじめ多くの方々を対象に野 口聡一宇宙飛行士やはやぶさ2のミッションマネージャで ある吉川真氏等をお招きし、講演会等を実施するととも に、JAXAつくば宇宙センター見学バスツアーを実施するこ とにより、宇宙や科学について学び、夢を育むための機会 となった。	宇宙記念日関連事業の 開催回数	1回	2回	S	増加						
					375,150	816,048												
3	小学校ふれあいプラ ザ事業	2	0.51	一般	20,827,000	22,761,000	小学生に対し、放課後の小学校施設を地域の方々の協 力をいただきながら居場所として開設し、子どもが安全安 心に過ごせる居場所を確保するとともに、地域との交流や 異年齢交流を図ることができた。	1年間参加人数2実施校 数	37,000人 19校	32,186人 18校	S	変動 なし						
					17,165,639	17,907,765												

4	子どもの安全を守る都市の推進	1	0.34	一般	1,424,000 1,308,395	1,424,000 1,419,718	多くの市民の方に向け実施したキャンペーン等の啓発事業等により、子どもを事件や犯罪から守ることができた。また市内郵便局への「こども110番の家」ステッカー掲示ができ、安全を守る都市の推進が図られた。	子どもの安全活動に係る支援学区数	19学区	19学区	S	変動なし		
5	インターネット有害情報監視事業	1	0.50	一般	1,187,000 1,166,388	1,192,000 1,038,324	主に中学生のインターネット上への書き込みを検索することにより、書き込みの内容に応じた指導や保護者との相談につなぐことができ、課題解決の糸口となった。	小・中学校に係るインターネット上の検案件数	4,500件/月	3,977件/月	S	変動なし		
6	主催事業の開催(青少年会館)	2	2.57	一般	646,000 461,405	546,000 359,406	青少年の余暇活動推進の一環として青少年、子ども、親子等を対象とした事業を実施した。参加者の新たな学びや健全育成の場となった。	主催事業の開催回数	80事業	60事業	A	変動なし		
7	主催事業の開催(海岸青少年会館)	2	0.00	一般	670,000 668,933	0 0	体験学習センター開館に伴い「茅ヶ崎公園体験学習センター施設運営業務」に移行	主催事業の開催回数	0事業	H30にて事業終了	実績なし	-		
8	(仮称)茅ヶ崎公園体験学習施設運営業務	2	3.01	一般	402,000 369,759	1,150,000 912,883	子どもから高齢者まで、あらゆる世代を対象に多種多様な事業を実施した結果、参加者の新たな学びや体験の場として、多世代交流や仲間づくりを進めることができました。	自主事業の開催回数	50事業	44事業	S	変動なし		
9	自然体験教室の開催	1	0.31	一般	883,000 628,022	834,000 640,504	小学生を対象に、豊かな自然環境での生活を通じて、自然い親しみ、仲間と協力して集団生活を行うことにより、子ども会におけるリーダーとして活躍できるよう、また中学生からジュニアリーダーとして活動できるようきっかけづくりを行った。	参加満足度	80.0%	92.10%	S	変動なし		
10	青少年育成のつどいの開催	1	0.25	一般	385,000 294,062	385,000 211,299	子どもたちが多様な体験活動ができる場を創出するとともに、青少年指導員の活動内容について理解を深めていただくため、「青少年指導員まつり」を実施し、多くの市民の方に青少年の健全育成の大切さを理解していただく機会となった。	青少年育成のつどい開催時期	31年度12月	令和元年度1月	A	増加		●
11	茅ヶ崎ゆかりの宇宙飛行士関連事業(宇宙飛行士展示コーナー関連事業費)	1	0.49	一般	3,784,000 3,637,596	3,696,000 3,245,536	次世代を担う子どもたちをはじめ多くの方々を対象に宇宙に関する夢や希望を育てていただくため、「宇宙飛行士展示コーナー」を開設するとともに、宇宙教室を開催した。	宇宙教室開催回数	4回	4回	S	変動なし		
12	海岸青少年会館移転事業	2	0.00	一般	6,847,000 6,846,252	0 0	海岸青少年会館移転業務完了のため事業完了	会館仮設棟の賃貸借期間	—	H30にて事業終了	実績なし	-		
13	子ども会育成事業	1	0.28	一般	85,000 78,498	84,000 76,782	子ども会に加入する子どもたちを対象に、学区を越えて交流する機会を設けることにより、子ども会会員同士の交流と親睦を図ることができた。またインリーダー研修を実施することにより、子ども会で活動する子どもたちの育成が図られた。	子ども会交流事業への参加子ども会数及び児童数	25単子 170人	13単子 39人	C	減少	●	
14	子どもの家の管理業務委託	2	0.15	一般	23,081,000 23,043,000	23,870,000 23,870,000	小学生までの子どもたちが安全・安心に過ごせる居場所として、指定管理者により管理運営を行った。各館での自主事業等の開催により、子どもの居場所としての価値向上に努めた。	利用者数(年間)	39320人	30,226人	A	変動なし		
15	ジュニアリーダー養成講座の開催	1	0.19	一般	94,000 74,456	100,000 69,654	主に中学生を対象に、子ども会の意義や地域活動の大切さ等についての講座を開催し、リーダーとして必要な基礎知識や技術を身につける機会を設けることにより、ジュニアリーダーの養成に努めた。	ジュニアリーダー養成講座開催数	年間4回	年間5回	S	変動なし		

16	子ども大会の実施	1	0.08	一般	1,520,000 1,516,348	1,520,000 1,492,159	子どもたちを対象に、地域の方々の協力により、学区ごとに様々な遊びや体験を通して交流を深める場が提供され、地域で子どもたちを育成する機会となった。	19学校区の実施	19学区	19学区	S	変動なし		
17	はまかぜコンサート・海青祭の開催(海岸青少年会館)	2	0.00	一般	100,000 73,625	0 0	海岸青少年会館閉館のため事業廃止	イベントの実施	イベントの実施	H30にて事業終了	実績なし	-		
18	成人のつどい事業	1	0.48	一般	1,809,000 1,555,198	1,646,000 1,162,997	新成人を対象に、実行委員会形式により成人のつどいを開催することにより、成人としての自覚を促すとともに、社会の一員として力強く生き抜いていこうとする新成人を祝福する機会となった。	成人のつどい参加対象者の式典参加率	75.0%	63% 対象者:2,408人 参加者:1,518人	S	変動なし		
19	青少年育成指導者研修	1	0.12	一般	75,000 59,380	25,000 0	青少年指導員を対象に、青少年育成の実践に役立つ研修を開催することにより、必要な知識の習得や資質の向上が図られた。	研修実施回数	3回	2回	A	増加		
20	青少年指導員活動支援	1	0.30	一般	4,009,000 3,357,443	3,552,000 3,040,875	地域における青少年の自発的活動の支援やその育成組織の活動を推進している青少年指導員を支援することにより、青少年の健全な育成が図られた。	愛のパトロール実施地区数	19学区	19学区	S	変動なし		
21	遊び体験教室の開催	1	0.36	一般	416,000 385,053	421,000 341,181	小学5・6年生を対象に、豊かな自然環境での生活を通じて自然に親しみ、仲間と協力して豊かな人間性をみがき、集団生活のルールを守る体験をすることにより、子ども会でのインリーダー養成に努め、子ども会活動の充実のきっかけとなった。	参加者満足度	80.0%	88.90%	S	変動なし		
22	冒険遊び場事業	1	0.13	一般	400,000 400,000	400,000 400,000	子どもたちが自然の中でのびのびと五感を使い、創造性を育み、活発に遊ぶことができる場所を設けることにより、青少年の育成及び子どもの多様な居場所づくりができた。	冒険遊び場事業開催数	年間12回	32回	S	変動なし		
23	はまかぜ菜園管理運営事業(行政提案型協働推進事業)	1	0.30	一般	233,000 233,000	654,000 654,000	小学生、子育て世代から高齢者などあらゆる世代の方々に参加いただき、年間を通した菜園づくりを行う中で様々な交流の機会を提供することができた。	事業実施回数	年間20日	年間24日	S	増加		
合計					R元予算(円)	70,145,000								
					R元決算(円)	60,970,016								

3 実施計画事業(政策的事業(政策的事業のない課はいは一般管理事務等))の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析(Check) / 今後の展望(Action)

<p>青少年課の令和元年度の政策的事業数は19事業であり、評価結果は「S」が15事業、Aが4事業、Cが1事業である。このほか、平成30年度に事業が終了したため、実績なしの事業が3事業あった。</p> <p>施策指標としている小学校ふれあいプラザ利用者数と小学校ふれあいプラザ開設校数は目標値に届かなかった。利用者数については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月の小学校ふれあいプラザ事業実施を見合わせたこと等が要因として考えられる。小学校ふれあいプラザ未開設校については、開設に向け、担い手の課題等について検討するため、他市事例の視察を行ったが、未開設校におけるプラザ事業のあり方を再検討していく必要があると判断したことから、利用する子どもたちのニーズ把握等を行っていく。</p> <p>また、青少年会館の利用者数は、平成30年度までは青少年会館及び海岸青少年会館の利用者数としていたため、青少年会館のみとなった令和元年度は大きく減少している。平成30年度実績のうち、青少年会館利用者数は96,625人で、単館で比較しても大幅な減少となった。要因としては、5～6月に24日間空調工事により臨時休館したことや、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として3月3日から3月末まで休館となり、貸館業務が約2か月少なかったこと及び予定していた13自主事業が中止となったことが考えられる。</p> <p>事業ごとの評価として、C評価となった子ども会育成事業は、初めて秋休みの開催としたが、学区における行事との重複等により参加人数が伸びなかった。市子ども会連絡協議会(以下、市子連という。)に加入する単位子ども会が減少する中で、これまで広報紙での子ども会活動の紹介や全校への子ども会参加のチラシ配布等を実施してきたが、参加者の増につながっていないことから、参加者をどのように確保していくか、検討していく。</p> <p>職員の時間外勤務は1,860時間、1人あたりの月平均は19.4時間で、前年度の総時間1,235時間、1人あたりの月平均12.9時間に比べ、増加している。これは、体験学習センターが平成31年1月に開館し、開館後の様々な課題等に対応する必要があったためであると考えられる。</p> <p>青少年会館は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、3月の事業が中止となったが、2月までに母の日のフラワーアレンジメント講座、NPO法人との連携事業としての小学生のプログラミング講座、プロのパフォーマーによるレッツダンス教室など60事業を実施し、青少年の健全育成に努めた。今後については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、新しい生活様式の中でより安全・安心して自主事業にご参加いただけるように、自主事業についてはオンライン講座等施設に来館しなくても発信できるよう調査研究していく。</p> <p>体験学習センターは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、3月の事業が中止となったが、2月までに環境問題に関する講座や料理体験、菜園づくり体験、宇宙関連講座など44事業を実施し、新施設の周知にもつなげることができた。今後については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、新しい生活様式の中でより安全・安心して施設を利用いただけるような施設運営を行っていく。</p>	
--	--

4 Actionにチェックの入った今年度「事務改善」を行う事業

No.	事務事業(事業がない場合は－)	事務改善の内容
13	子ども会育成事業	子ども会交流会事業について、対象が市子連に加入している単位子ども会会員に限られており、市子連会員の減少や酷暑により参加者が得やすい夏休み期間の開催ができないことにより参加者が減少している。子ども会の本来の姿である、子どもが主体となった異年齢間交流を実現するためにも、参加者増に向け対象者の拡大について市子連と協議してゆく。 また、現在はスポーツを通じた交流としてドッジビー大会を開催しているが、子どもたちの参加意欲を高めるため、ニュースポーツやパラ競技、プロ選手等から指導を受けられるような企画も視野に入れ、検討してゆく。

5 Actionにチェックの入った今年度「休・廃止」を検討する事業

No.	事務事業(検討事業がない場合は－)	休・廃止検討の理由(1事業も検討できない場合はその理由を記載)
10	青少年育成のつどいの開催	青少年健全育成事業の重要性を広く一般市民に周知し、地域の青少年活動の活性化を図ることを目的に、数年前までは各中学校の代表者が市民文化会館で発表等をし、中学生の活動を市民の方々に御覧いただく機会となっていたが、最近は各学区における子ども大会や公民館まつりで、中学生等が地域活動に参加する取り組みが行われるようになり、地域により身近な形で青少年による活動が行われるようになった。これらの活動により、青少年健全育成について地域への周知も継続して図られているため、令和元年度で育成のつどい事業を廃止する。